

小金井市施設ごみゼロ化行動実施計画

計画年度	令和7年度	部会名	学童保育所・児童館 ごみゼロ化行動推進部会
会 長 名	(職名) 児童青少年課長	(氏名) 平岡 美佐	
対象とする施設名称	(学童保育所併設) 児童館3館、学童保育所6所		
廃棄物の減量目標	5, 203kg		
資源化率の目標	70.5%		
計画年度における取組			
<p>1 令和7年度廃棄物減量目標</p> <p>(1) 廃棄物の減量目標 令和4年度実績の6%減 5, 535kg ⇒ 5, 203kg</p> <p>(2) 廃棄物の資源化率の目標 令和4年度実績の6%増 64.5% ⇒ 70.5%</p> <p>2 ごみゼロ化実施計画目標を達成するための具体的な取り組み</p> <p>(1) 食事及び食事容器等の発生抑制</p> <p>① (各施設で所有している) 箸、スプーン、フォーク、茶器及びマイバッグ等の使用を徹底</p> <p>② 繰り返し使用できる容器の弁当の購入を検討</p> <p>③ 食べ切ることのできる量を購入し、食品ロスを発生させない</p> <p>④ ペットボトル等の持ち帰り、水筒の使用</p> <p>(2) 紙資源の発生抑制等</p> <p>① 紙の使用量削減</p> <p>② ミスプリントの削減</p> <p>③ 使用済みの紙、ミスプリント紙等の裏紙再利用の徹底 ※個人情報及び機密情報が記載されていないか十分確認する。</p> <p>④ 紙資源の分別徹底 (雑誌・新聞紙・ダンボールの分別)</p> <p>⑤ 電子メールの使用などを選択</p> <p>⑥ 施設に直接届くチラシなどは可能な限り断る</p> <p>(3) ごみ・資源の発生抑制、分別の徹底</p> <p>① 分別が分かりやすいように掲示等を工夫する。</p> <p>② ごみの排出場所の削減等</p> <p>3 目標を推進する職員の心構え</p> <p>(児童館・学童保育所) 再利用するものを保管しておく場所を作り、職員間で共有する。資源とならないものの廃棄方法を職員・施設全体で共有する。</p>			

リサイクルの徹底や包装袋を小さくするなどの指導を来館者や子どもたちにも徹底することで、ごみを極力少なくするように努める。子どもたちとの工作の中でリサイクル品を使用する。子どもたちの落書き等は前年度カレンダーの裏紙を使用する。近隣小・中学校の生ごみ処理機を利用し、減量に努める。裏紙は、事務文書の印刷や、子どもの塗り絵や学習プリントなどに再利用。使用済み茶パックは袋（燃やすごみ）と茶葉（生ごみ処理機）とに分別する。

（児童館） ペットボトル等のごみは工作材料への転換に努める。

（学童保育所） 間食として購入した菓子の空箱などは、工作材料として使用し、持ち帰らせる。プリンカップなどは工作や砂遊びなどに利用する。